

児童の情報活用能力の育成と教員の ICT 授業活用に向けて

授業研の様子をご紹介します

学校に50インチテレビや、実物投映機など新しい機器が導入され、クラスや学年に応じてさまざまにご活用されていることと思います。

さて、情報研では7月6日に第1回の授業研究を宮崎台小にて行いました。6年生（高橋級）は国語、5年生（藤沢級）は社会の授業を通して、図書資料やICT機器を活用しながら、児童が生き生きと自らの考えを深めていく姿が見られましたので、その様子をご紹介します。

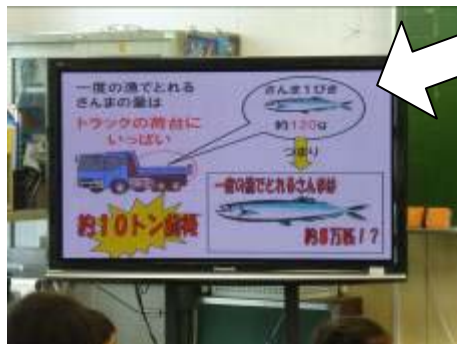
今後の授業実践の参考にされてはいかがでしょうか。

50インチ テレビの 活用

50インチテレビは、授業の導入で子どもたちの関心を高めたり、資料を大きく映して分かりやすく提示したりするのにぴったりです。

映像教材によって、実際には見られない漁の様子を詳しく見ることができました。

現場の方のお話も、子どもたちが働いている人たちの気持ちを考えるのに役立ちました。



図書資料の活用

6年 国語科 「私の主張 ～平和について考える～」

50インチテレビを使ったブックトークで、子どもたちの課題を見据えた本の紹介をしました。



空き教室に、平和について考えるコーナーとして、集めた本を配架しました。



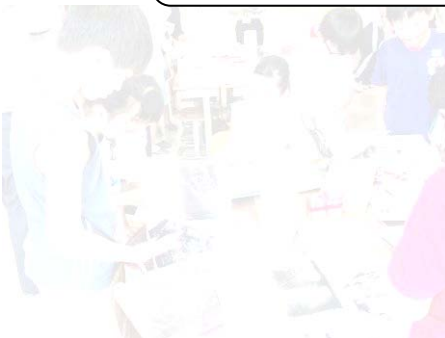
① 写真集	② 統計資料・年鑑 事典・年表
③ 子どもの労働 兵士・差別 奴隷い	④ 国際理解・平和 国際連合
⑤ 戦争とは (シリーズもの)	⑥ 核兵器 原爆
⑦ 外国の戦 争・地雷	⑧ 日本の戦 争・沖縄・ 川崎

公共図書館の団体貸し出しを利用するなど、適切な資料にあたるための手立てを工夫することで、子どもたちはどんどん資料を探すことができました。

教師が情報を把握することで、個に応じた支援ができます。

友だち同士で資料を紹介し合えること、情報が子どもの発達段階にあっていないこと、情報の信頼性なども図書資料の良さです。

ノートに書かれたキーワードを元に、題名や目次、索引などから情報を探しました。



付箋をはって、資料カードに記入しました。

